

日医発第116号（健Ⅱ64F）
令和3年4月28日

都道府県医師会長 殿
郡市区医師会長 殿

公益社団法人 日本医師会
会長 中川 俊男
(公印省略)

新型コロナウイルスワクチン接種事業の推進について

貴会におかれましては、接種を希望する方が、滞りなく、安心して接種を受けられるよう、地域の実情に応じて集団接種とかかりつけ医による個別接種を適切に組み合わせた接種体制の構築に全力で取り組んでいただいておりますこと、あらためて感謝申し上げます。

これまで国民が一丸となって新型コロナウイルス感染症と闘ってきましたが、ワクチンの接種により、この闘いは、これまでの「守り」から「攻め」に転じるものであると本会記者会見等を通じて申し上げます。

国民の生命と健康を守るために、全国的なワクチン接種を推進し、一気に収束への道筋をつけることが必要です。

ワクチンについては、希望されるすべての方が接種できるよう、今後、順次供給される見通しではありますが、この度のワクチン接種は、極めて短い期間に約1億人の方が2回の接種を受ける大事業です。

そのためには、集団接種における接種会場運営、接種医の確保等への地域医師会の積極的な関与、個別接種におけるかかりつけ医等の会員の先生方の、より一層のご協力が不可欠です。

菅総理大臣、田村厚生労働大臣、河野ワクチン担当大臣からは、医師会の接種体制構築への協力を期待と謝意を表されております。国民に安心、安全に、そして確実に接種を実施するために、今こそ我々医師や医師会がリーダーシップと底力を発揮する時です。

つきましては、本件について貴会の更なるご協力を賜りますとともに、会員ならびに関係医療機関に対する周知、協力方につきまして、ご高配のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。